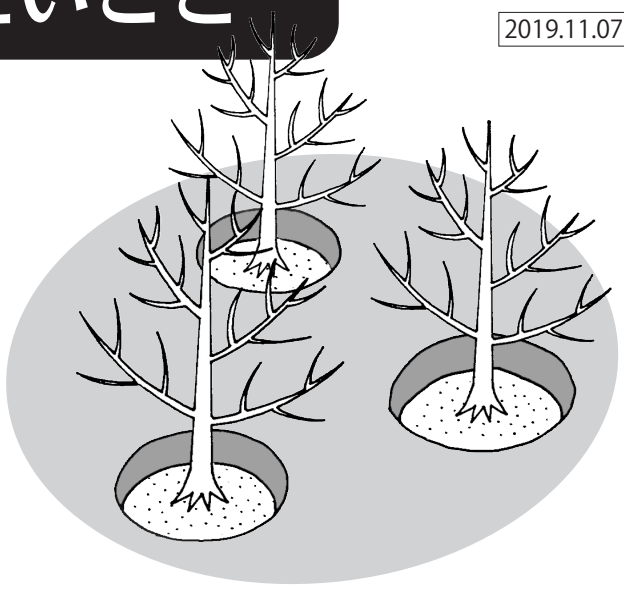
緊急速報 果樹を守るために まずやっておきたいこと

JapanSmileProject
発行　日本笑顔プロジェクト
代表　林映寿
2019.11.07 更新

台風19号に伴う千曲川の越水・決壊・氾濫で、
沿岸では果樹畑が大きな被害を受けました。
現在、長野県や各市町村では被害状況の調査と
支援体制づくりが進んでいます。
これに先立って、まずやっておきたいことがあります。
緊急に必要なのが、
市町村への連絡・相談、そして
果樹を覆う泥土の除去です！



果樹の根・幹の周りの泥土を除去して呼吸を助けよう！

1.市町村窓口への連絡・相談

台風19号に伴う水害については、災害復旧事業（国庫補助）をはじめとする公的支援の対象となる場合があります。果樹畑での復旧作業を始める前に、各市町村窓口に連絡・相談をしましょう。〈**5.公的支援・補助・各種相談窓口**〉をご参照ください。**必要資料**は次のとおりです。

①施設等の被害状況の写真、作業を行った日付、作業者、費用の記録

②作業の発注書、納品書、見積書、請求書、領収書などの書類

2.泥土を除去して酸欠を防ぐ！

1）酸欠で根が枯れてしまう！

水害で運ばれた泥は、水分を多く含んだ粒子の細かい土です。果樹を植えた土がこの泥土で覆われてしまうと、土の中の酸素がどんどん少なくなっていきます。すると**果樹の根が酸欠状態**となり、枯れてしまう恐れがあります。

①果樹の健全な生育

②冬越しの準備

③翌年度の収穫　のためには、早急な泥土の除去が欠かせません。

2）厚さ 5cm を超える泥は早急に除去を！

厚さ 5cm 以上の泥が堆積している場合は、一刻も早く、**根の周りの泥を除去**する必要があります。泥の堆積が少ない場合は、浅く耕し、土壌の呼吸作用を助けましょう。深く耕しすぎて根を傷つけないよう注意して。

3.優先順位は？

1）モモ・サクランボ

モモやサクランボは、耐湿性が低く、根が障害を受けやすいので、真っ先に救助が必要です。

2）リンゴの苗木・若木・わい化樹

リンゴのなかでも、土中の比較的浅いところに根を張っている苗木や若木、わい化樹を優先的に。

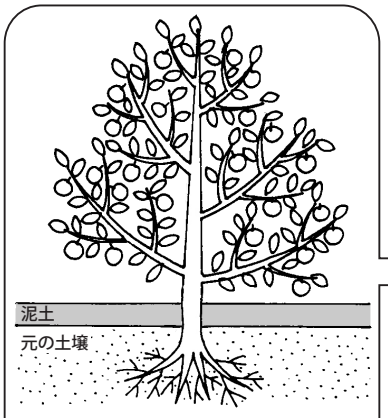
3）リンゴの普通栽培樹

モモ類やリンゴの若木を優先したうえで、なるべく早く泥の除去を。

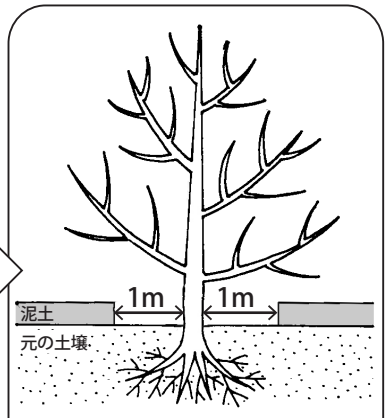
4.泥土の除去はどこまでやればいい？

1）根の回りの泥土を除去

泥土に隙間なく覆われていると、根が酸素を補給できません。根を覆った泥土はできるだけ除去します。根や幹の際は、果樹を傷めないよう、スコップなどで慎重に。その他の部分はバックホーなどの重機も活用しましょう。
地域内で泥土の集積所が設置されるまでは、除去した泥土を畑内に仮置きしておきます。



①泥土に覆われた状態では、根は呼吸することができません。



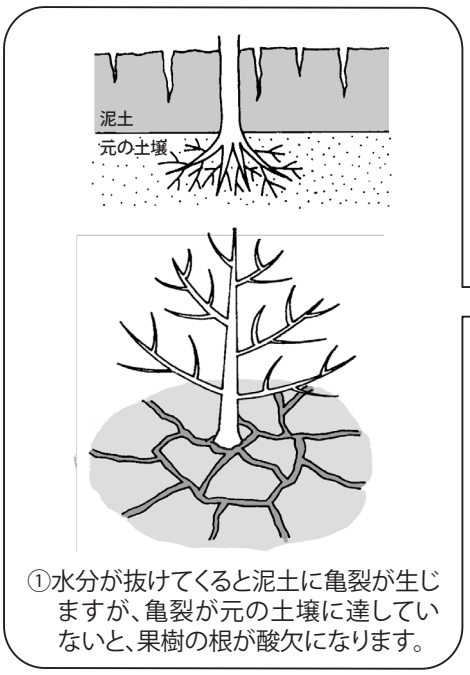
②幹や根の周りの泥土を除去し、半径１mほどの通気を確保します。実や葉が泥を被った場合は、摘み取って処分します。

2）目安は半径 1m

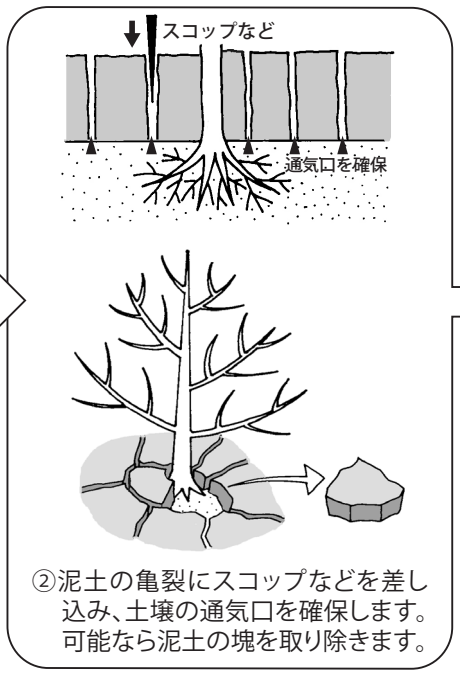
果樹の周り、半径1mほどを目標に、泥土を除去します。苗木や若木は半径50cm ほど。

3）泥土を割って通気を確保

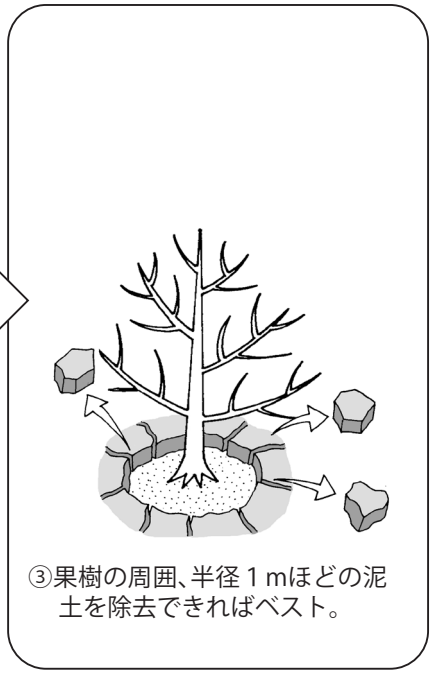
泥土の除去に時間を要する場合は、根の周りの泥土を割って、空気の通り道を確保しましょう。
堆積した泥土が乾いて亀裂が生じてきたら、これを利用して割れ目を増やしていきます。



①水分が抜けてくると泥土に亀裂が生じますが、亀裂が元の土壌に達していないと、果樹の根が酸欠になります。



②泥土の亀裂にスコップなどを差し込み、土壌の通気口を確保します。可能なら泥土の塊を取り除きます。



③果樹の周囲、半径１mほどの泥土を除去できればベスト。

4）排水路を作る

果樹回りのみ泥土を除去した場合、降雨時に雨水が溜まらないよう、排水路を作ります。

5.公的支援・補助・各種相談窓口

◉小布施町民は……小布施町産業振興課農業振興係　電話：026 -214 -9104（代）

◉長野市民は……長野市農業政策課生産振興担当　電話：026 -224 -7274

農地被害についての技術・経営・資金制度活用	長野農業改良普及センター	電話：026 -234 -9534
	長野県農政部農業技術課	電話：026 -235 -7223
農業共済加入者の補償	長野県農業共済組合 北信地域センター	電話：026 -219 -2890
災害被害者の経営再建資金	日本政策金融公庫長野支店 農林水産事業	電話：026 -233 -2152
	長野県信用農業協同組合連合会	電話：026 -236 -2080